

平成24年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成24年5月31日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程（4日目）

- 日程第 1 議第30号 竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命について
- 日程第 2 議第29号 平成24年度竜王町一般会計補正予算（第1号）
（総務産業建設常任委員会委員長報告）
- 日程第 3 竜王町選挙管理委員会委員および同補充員の選挙について
- 日程第 4 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 5 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第 6 議会基本条例推進特別委員会委員長報告
- 日程第 7 所管事務調査報告
（議会運営委員会委員長報告）
（総務産業建設常任委員会委員長報告）
（教育民生常任委員会委員長報告）
- 日程第 8 議員派遣について

2 会議に出席した議員（11名）

1番	小森重剛	2番	竹山兵司
3番	若井敏子	4番	岡山富男
5番	山田義明	6番	内山英作
7番	貴多正幸	8番	古株克彦
10番	西村公作	11番	菱田三男
12番	蔵口嘉寿男		

3 会議に欠席した議員（1名）

9番 松浦博

4 会議録署名議員

10番	西村公作	11番	菱田三男
-----	------	-----	------

5 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	青木進
教育長	岡谷ふさ子	会計管理者	赤佐九彦
総務政策主監	福山忠雄	住民福祉主監	田中秀樹
産業建設主監	村井耕一	総務課長	奥浩市
政策推進課長	杼木栄司	生活安全課長	若井政彦
住民税務課長	犬井教子	福祉課長	吉田淳子
健康推進課長	嶋林さちこ	産業振興課長兼 農業委員会事務局長	井口和人
建設水道課長	竹内修	教育次長	山添登代一
学務課長	市田太芽男	生涯学習課長	田邊正俊

6 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	松瀬徳之助	書記	白井由美子
--------	-------	----	-------

開議 午後1時00分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、11人であります。よって、定足数に達しておりますので、これより平成24年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。皆さんのお手元に、滋賀県市町土地開発公社、株式会社みらいパーク竜王並びに公益財団法人竜王町地域振興事業団の事業報告、経営状況等を説明する書類を配付いたしましたので、よろしく願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第1 議第30号 竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命について**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1 議第30号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） ただいま上程いただきました議第30号につきまして提案理由を申し上げます。

議第30号、竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命につきましては、地方自治法施行規程第17条第5項の規定により議会の同意を求めるものでございます。

地方自治法施行規程第17条第5項中、「町職員の中から1人」という規定によりまして、川部治夫氏を任命いたしておりましたが、退職により欠員が生じたため、その後任として、福山忠雄氏を提案申し上げるものでございます。

福山忠雄氏は、竜王町大字庄に住まいし、昭和53年4月に竜王町役場に勤務されて以来、勤続34年のベテラン職員であり、現在は総務政策主監の要職につき、職員懲戒審査委員会委員として適任でありますので、御承認を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（蔵口嘉寿男） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結し、討論は省略して、これより採決を行います。

日程第1 議第30号を原案のとおり同意することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第1 議第30号を原案のとおり同意することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第2 議第29号 平成24年度竜王町一般会計補正予算（第1号）
（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2 議第29号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、山田義明議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（山田義明） 報告します。

議第29号、総務産業建設常任委員会報告。

平成24年5月31日

委員長 山田 義明

去る5月22日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第29号、平成24年度竜王町一般会計補正予算（第1号）について、審査の経過と結果を報告いたします。

5月23日午後1時より、第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長、中島総務課行財政係長の出席を求め、説明を受け、審査いたしました。

平成24年度竜王町一般会計補正予算（第1号）は、既決予算に308万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を47億9,008万4,000円に改めるもので、歳出補正の主な内容は、庁内ネットワークへの接続作業に係る手数料、国民年金システム改修委託料、道の駅観光案内看板の修繕費、コミュニティ・スクール推進事業に係る所要額、外国語能力強化地域形成事業に係る所要額及び竜王幼稚園管理運営費における雨漏れ修繕費のそれぞれ増額と所管の変更による委託料の移管、科目振替等と説明を受けました。

歳入補正予算の主なものは、国庫支出金のコミュニティ・スクール推進事業委託金30万円、県支出金の外国語能力強化地域形成事業委託金78万4,000円、前年度繰越金200万円。

また歳出補正予算の主なものは、情報系システム開発・管理事業の手数料39万5,000円、国民年金事務費の委託料で国民年金システム改修37万8,000円、観光費・一般管理の修繕費15万4,000円、コミュニティ・スクー

ル推進事業 30万6,000円、外国語能力強化地域形成事業 79万円、竜王幼稚園管理運営費の修繕費 106万1,000円です。

主な質疑応答は、問道の駅の看板修繕費が計上されているが、指定管理されているところの設備も町が負担するのか。答 施設の全体にかかる分については町が負担します。ガラスが割れた等の軽微なものについては指定管理者側で負担していただいています。

問 外国語能力強化地域形成事業の内容とその費用はどのようなものなのか。答 国より研究校の指定を受けた竜王中学校で生徒の英語力向上を目指します。費用は英語教材のCD代、研究発表用冊子の印刷製本費、講師謝礼や旅費等です。成果も県内に広く紹介します。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま総務産業建設常任委員会委員長より、審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第2 議第29号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第2 議第29号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 竜王町選挙管理委員会委員および同補充員の選挙について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第3 竜王町選挙管理委員会委員および同補充員の選挙についてを議題といたします。

竜王町選挙管理委員会委員及び同補充員の任期が平成24年7月21日をもって満了いたしますので、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定に基づき選挙をするものであります。

お諮りいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選にいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選と決定いたしました。

お諮りいたします。

指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

それでは、指名いたします。

まず最初に、竜王町選挙管理委員会委員に、竜王町大字山之上2266番地、木村常雄氏。竜王町大字岡屋1258番地2、松浦正和氏。竜王町大字林378番地、楠本恭久氏。竜王町大字西横関735番地、北川治郎氏。

以上の方を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま、議長において指名いたしました方を竜王町選挙管理委員会委員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました方が竜王町選挙管理委員会委員に当選されました。

次に、同補充員について指名いたします。

竜王町選挙管理委員会委員補充員に、第1順位、竜王町大字山之上1152番地1、谷村ゆき江氏。第2順位、竜王町大字小口1139番地142、田村 忠氏。第3順位、竜王町大字西川1411番地2、中松計次氏。第4順位、竜王町大字山面35番地299、平野明美氏。

以上の方を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま、議長において指名いたしました方を竜王町選挙管理委員会委員補充員の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました方が竜王町選挙管理委員会委員補充員に当選されました。

なお、議会会議規則第33条第2項の規定による告知は、後日、当選人に文書で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第4 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、内山英作議員。

○議会広報特別委員会委員長（内山英作） 議会広報特別委員会報告を行います。

平成24年5月31日

委員長 内山 英作

本委員会は、平成24年第1回定例会閉会後の平成24年4月6日、12日、19日の3日間、委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だより159号の編集作業をしました。

議会だより159号は、第1回定例会の内容、竜王町新年度予算、条例の制定・改正等、一般質問、委員会報告を中心に14ページにまとめ、5月1日に発行しました。

次に、本定例会中では5月21日、委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だより160号について記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事は、本定例会の内容、専決処分の承認を求める件、平成24年度一般会計補正予算、一般質問、委員会報告、シリーズ「いきいき人生」などで、12ページにまとめ、7月1日に発行することになりました。

今後の本委員会の日程につきましては、6月1日、5日、11日、15日と予備日を19日と決定しました。

また、今年度の広報研修会は、7月30日、31日の2日間、東京で開催される第76回町村議会広報研修会に参加、研修をすることに決定しました。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問

がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第5 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第5 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、古株克彦議員。

○地域活性化特別委員会委員長（古株克彦） 地域活性化特別委員会報告をいたします。

平成24年5月31日

委員長 古株 克彦

本委員会は、平成24年5月23日午前9時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと町執行部より竹山町長、福山総務政策主監、村井産業建設主監、杼木政策推進課長、竹内建設水道課長、森脇定住・企業誘致対策室長、井口建設水道課参事、森定住・企業誘致対策室係長の出席を求め、町長あいさつの後、事前に求めた事項に沿って所管事務調査を行いました。

1、（仮称）竜王岡屋工業団地造成事業について。

前回報告（3月19日の特別委員会）以降の進捗状況について説明がありました。県新駅・特定プロジェクト対策室、公社と町は年度始めの打ち合せを4月20日に行われた。5月7日に地元関係者による県関係者へのあいさつが、町職員同行のもと行われた。

今後の予定として、5月から6月に第2回目の環境影響評価審査会、12月上旬に環境影響評価書公告縦覧、実施設計の業者は、パシフィックコンサルタント（大阪）に決定し、5月9日より平成25年3月19日の間に行われる。

主な質疑・応答。

問 交通量・水に関する地元の質問・要望が多いが、それに対して今後、話し



合いが持たれるのか、また地元の要望に対して迅速な回答が得られるのか。答  
今の段階で定期的な会合を開くかは決まっています。もう少し事業が進む中で  
情報なり素案が示され、事業が固まる前に地元の要望を聞く話し合いの場を設定  
していきたいです。

問 祖父川と中川の流域に調整池を設置することによって、50年に一度の災  
害にも耐え得るようにすると明言されていたが、その考えは変わっていないか。

答 その方針は変わっていません。

問 環境に配慮した工業団地ということで太陽光発電の考えはないのか。答  
メガソーラーは無理ですが、工業用地ののり面を利用する等の手はあるが、今後  
県の方針とすり合わせながら話し合っていきたいです。

2、三井アウトレットパーク滋賀竜王の動向について。

三井アウトレットパーク滋賀竜王については、第Ⅱ期増床に向けての事業計画  
が進行中で、5月21日に町公民館で地元5自治会と関係団体との周辺地域説明  
会が行われた。

議題は、①2011年度の運営総括、②第Ⅱ期増床計画について行われた。工  
事期間中の駐車場確保について民有地確保とあわせてドラゴンハットの多目的広  
場を舗装して駐車場に、また田んぼを含めた空き地に対して造成工事をして駐車  
場に使用してほしい旨の要望が出ている。

主な質疑・応答。

問 ドラゴンハットの多目的広場を舗装してまで、駐車場確保のため、三井に  
協力しなければならないのか、公園法等の縛りはないのか。答 交通渋滞等の観  
点から、駐車場確保に町としても全面的に協力してきたが、ドラゴンハットの多  
目的広場の駐車場については、地域振興事業団ともすり合わせをし、法令も検討  
しながら対応いたします。

3、エイエフティー(株)の進出について。

事業内容については前回の特別委員会で報告を受けたとおりだが、建設計画に  
ついて、施工業者が(株)フジタ大阪支店に決まり、建設工事に伴う施工手順につい  
て4月6日に地元説明会があった。6月から工事にかかり、来秋に本格稼働する。

主な質疑・応答。

問 従業員の地元採用はあるのか。答 人員計画については約90名です。本  
格稼働を当初から進めるため、本社からベテラン社員を配属する予定です。地元  
採用は当初事務職を中心に数名にとどまります。技術者については、養成しなが

ら地元社員がふえるのではないかとされます。

4、その他。

雪国まいたけについて、膠着状態の続いているものについての質問があり、状況報告があった。農工法の期限が来年3月に迫る中で、今後の進め方について、町にとってどのような方策があるのか、雪国まいたけに早期の方策を出すことを迫っていきたい。また、雪国まいたけについての経営状況を調べるとともに、町としても腹をくくって具体的に進めるとの説明を受けた。

小口工業団地の町有地開発について、町として開発する意向はあるのかという質問に対して、今の町の財政状況では、町みずから開発することは難しい。民間活力を利用しながら進めて行きたいと回答があった。

I B M跡地について、I B Mと利用計画の見直しも含めて進めていくと説明があった。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていききたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。以上です。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会基本条例推進特別委員会委員長、若井敏子議員。

○議会基本条例推進特別委員会委員長（若井敏子） 議会基本条例推進特別委員会の報告を行います。

平成24年5月31日

委員長 若井 敏子

本委員会は、平成24年第1回定例会終了後の4月12日木曜日午後2時30分から301会議室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。

前委員会で「高千穂町議会の運営に関する先例・申し合わせ事項」について、ワークショップ形式で詳細検討・学習をしましたが、一部未検討の部分がありましたので、この日、最後まで検討・学習しました。

全員協議会に対する費用弁償の問題（高千穂町は支給している）、一般質問を開会後の早い時期にすること、議長の会議出席について議員への報告をどこまで求めるか、議員バッチはどの範囲までつけていなければならないのかなどについては今後検討を要する案件とされました。

高千穂町が決められているもろもろの事項は、竜王町としてはほぼ実施済みではあるが、前回と今回の委員会で指摘された事項については、次回以降の委員会で再協議することが確認されました。

本委員会は、平成24年第2回定例会の開会中の5月24日木曜日午前9時より301会議室において、委員1名欠席のもと委員会を開催しました。

青木副町長のあいさつの後、竜王町議会会議規則について事務局も交えて学習しました。

特に議論がされたのは1. 議員の議案提出権について、2. 少数意見の報告について、少数意見の留保について、3. 本会議における表決の順序、4. 100条委員会について、5. 懲罰についてなど議論が深く交わされました。委員会としては今後一層研究し、運用についても議論を重ねるべきとのまとめがされました。

「竜王町議会会議規則」は、議会基本条例の理念である住民に開かれた議会の構築を目指し、議会機能を十分発揮するための規定であり、繰り返し学ぶ必要があると全員で認識しました。

6月は他市町の議会活動をじかに学ぶため、近隣市町の議会を傍聴するなど計画しています。

以上、議会基本条例推進特別委員会の報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動及び審議を行いたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいをお願いいたします。以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 7 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第7 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 議会運営委員会報告。

平成24年5月31日

委員長 菱田 三男

本委員会は、4月19日午前10時30分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。

議会報告会について協議し、6月30日に公民館2階研修室で行うこととしました。

次に、本委員会は5月11日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催しました。

執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長、中島総務課行財政係長、寺田主任主事の出席を求め、竹山町長あいさつの後、平成24年第2回定例会に提出される提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、専決処分3件、補正予算1件、報告1件の計5件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を5月17日から5月31日の15日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

続いて要望書の処理について協議しました。「大飯原発再稼働反対要望書」に

については、議員全員に写しを配布し周知することとしました。また、6月30日に予定している議会報告会（懇談会）の骨子について協議しました。

次に、本委員会は5月21日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。

平成24年第2回定例会第3日の一般質問、9議員19質問について、会議の再開時間及び質問の順序等について審査決定しました。

第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順序とすることを決定しました。また、人事案件が追加の予定であり、5月31日の最終日の午前8時30分から議会運営委員会を開催することを決定しました。

次に、本委員会は5月22日午前10時55分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。今定例会の第2日より本会議を欠席する届けが会議録署名議員である松浦議員より提出されたことから、もう1名会議録署名議員を指名することを決定しました。

次に、本委員会は5月24日午前11時20分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。

松浦議員より一般質問通告の取り下げ申出書が提出されたことについて協議し、最終、一般質問を8議員18質問とすることを決定しました。

次に、本委員会は5月31日午前8時30分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。執行部より竹山町長、福山総務政策主監、奥総務課長の出席を求め、竹山町長あいさつの後、今定例会に追加提出案件として提案される人事案件1件について説明を受け、「竜王町選挙管理委員および同補充員の選挙について」とともに議案の処理について審査決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を行いたいと委員全員で決めていますので、議長よろしくお取り計らいのほどお願いいたします。以上でございます。

**○議長（蔵口嘉寿男）** 次に、総務産業建設常任委員会委員長、山田義明議員。

**○総務産業建設常任委員会委員長（山田義明）** 報告します。

総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成24年5月31日

委員長 山田 義明

本委員会は4月25日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと所管事務調査を行いました。執行部より竹山町長、福山総務政策主監、村井産業建設主監、若井生活安全課長、桴木政策推進課長、込山政策推進課課長補佐、森岡生活安全課生活環境係長の出席を求め調査を行いました。

所管事務調査内容。

ごみ減量化の取り組みについて（生活安全課）。

ごみ減量チャレンジ優良地区報奨事業は平成21年度より実施していて、平成21年度は20地区、22年度は25地区、23年度は23地区が参加されました。優良地区には報奨金が支払われています。

本町の中部清掃組合へのごみの搬入量は、集落からの委託収集量は減少傾向にあるが、アウトレットの影響もあり、平成22年より燃えるごみについては増加しています。その他のごみについては減少傾向が見られます。

ごみ減量に対する啓発取り組みについては、分別の徹底（分ければ資源になるという意識）、ひと絞り運動の継続（生ごみの8割が水分）及びコンポスト・電動生ごみ処理機・ボカシ容器の購入に対するごみ減量化推進事業補助金の交付などが実施されており、これら取り組みについて各地区の地域環境整備推進員会議等を通じて周知・啓発に努め、協力を呼びかけておられます。

また、エコライフ推進協議会のごみ減量・水環境・省エネの各部会（会員44人）と連携をとりながら、「生ごみの堆肥化学習会」や「河川の水環境をまもるポスターコンクール」、平和堂フレンドマート竜王店前での「マイバック運動」などを実施されました。

主な質疑・応答。

問 山中地区ではごみ減量の取り組みが進んでいて、1人当たりのごみ搬入量が町全体の平均の半分となっている。この取り組みを町内に広められないか。答 地域環境整備推進員会議での情報交換や各集落への出前講座を行っています。山中が作成されたパワーポイントも活用させていただき、取り組まれる集落に向いていきます。

防犯・交通安全啓発の取り組みについて（生活安全課）。

平成23年度の近江八幡署管内での刑法犯の発生状況は、22年度に比較し16.5%減の888件でした。交番・駐在所別では、竜王駐在所は2件減少の102件で、10ある交番・駐在所のうち、近江八幡駅前交番に次いで2番目の多さです。防犯の取り組みについては、防犯診断や近江八幡地区防犯自治会との連

携による啓発等が行われています。

また、交通安全については、地域安全運動地区（自治会）別自主取り組みや地域交通安全推進委員会議の開催、街頭啓発等が行われています。竜王町内の平成23年度の交通事故による死者は1名で傷者数は145名と前年度とほぼ変わらず、約半数が交差点における事故です。なお、当町では信号のない平面交差点が多いので「止まる・見る・待つ」をモットーに安全運転に徹するよう啓発の必要があります。

主な質疑・応答。

問 防犯パトロール車は同じコースを巡回しているように見受けられ、費用対効果があるのか。答 コースは5コースあり、毎日コースを変えています。道路での気がついたところやごみの不法投棄も報告してもらっていますが、今後も多面的に機能するよう実施していきます。なお、警備会社の車でのパトロールは県警で委託されているものです。

次に、地域ビジョン計画策定支援の取り組みについて（政策推進課）。

業務の目的は、平成22年度に実施した「竜王町まちづくり診断」を受け、それぞれの自治会の特徴を生かした活動や課題解決に向けた方策について整理し、今後の方向性を見出しながらまちづくりへの思いを広げていくため、自治会ごとのまちづくり計画書を策定していくものです。初年度はモデルとして幾つかの自治会を取り上げ、計画書の策定に係る支援を行いながら、今後、他自治会での計画書策定に参考となるポイントや作成方法について整理されます。

業務の実施期間は、平成23年9月より平成24年3月です。業務の概要としては、1、モデルとして5自治会を対象に地域ビジョン計画策定の意義や目的、策定方法や組織体制、策定に向けたスケジュール等についての事前説明会の実施。2、自治会で計画づくりを進める中で、支援が必要な場合は町の担当課が自治会支援を行うというものです。

業務の効果としては、1、自治会内の現状や課題を見直し、将来像を描くことができる。2、計画策定に取り組むことで継続的なまちづくりが可能になる。3、モデル地区での計画策定がきっかけで町内各自治会でのまちづくり計画策定が進み、自治会の自発的な事業展開が図れるということです。

応募された自治会は松が丘、西出、鶴川、綾戸、美松台であるが、支援の要請がなかった自治会や、検討項目が多く別組織を立ち上げることにした自治会もあったが、ある自治会では、自治会の附属機関であるまちづくり整備委員会が地域

ビジョン計画策定を担われています。ここではハード整備とソフト整備を兼ねて検討を重ねられています。

主な質疑・応答。

問 この地域ビジョン計画策定支援の取り組みでどのようなことができるのか。

答 集落で困っていることや村づくり事業での集落ビジョンづくりの手助けができ、ハード計画がある場合は助成金の情報提供や法的な相談、またソフト的な面での支援もさせていただき、よそでの情報も伝えて、直面する自治会の課題を支援していきます。

本委員会は、5月23日午後1時より第1委員会室において委員全員出席のもと所管事務調査を行いました。執行部より竹山町長、福山総務政策主監、村井産業建設主監、桴木政策推進課長、井口産業振興課長、竹内建設水道課長、ほか担当者の出席を求め調査を行いました。

所管事務調査内容。

日野川流域農業施設（国営）の機能保全について（産業振興課）。

当流域においては、昭和49年から平成6年にかけて実施された国営かんがい排水事業により造成された蔵王ダム、頭首工、揚水機場、幹線用水路等の数多くの国営施設がありますが、これらの施設は建設後約20年が経過し、施設の老朽化が進行しています。そこで、「国営施設機能保全事業」に取り組み、施設の長寿命化計画を作成し、施設機能の監視や補修・補強等を実施されるものです。

事業で想定しているメリットは、施設の長寿命化、農家負担の軽減、国による機能監視の強化です。

事業費は、概算工事費が26億3,000万円、その他の費用を入れて総事業費は34億円となります。費用の負担割合は国が66.6%、県が17%、市町が6%、地元は10.4%となります。

実施スケジュールは、今年度、国の認可申請、公告縦覧審査、認可を経て、平成25年3月の総代会の議決を得た後、各種手続を経て、平成25年7月より設計業務、工事实施となります。

費用の発生は、事業完成後2年間据え置きで、その後15年間の返済となります。

主な質疑・応答。

問 費用の負担はどうなるのか。答 県の財政が悪い状態のとき、土地改良区で肩がわりしていた県の負担分をこの返済金に充てるため、地元等の負担はかな



り少なくなります。

次に、橋梁の長寿命化修繕計画について（建設水道課）。

本町においては81橋を管理しているが、そのうち半数近くの橋が既にかけて40年以上を迎えます。30年後には91%がかけられて50年を迎え、橋の高齢化となります。

このことから、安心・安全な町民生活を支える道路ネットワークが悪化するだけでなく、多大な維持補修費用が必要となるため、町が管理している橋に対する維持管理手法をこれまでの「悪くなってから対策を行う」から「傷みが大きくなる前から計画的に対策を行う」という予防的な管理手法に移行し、橋を維持するとともに、維持管理費用の縮減を図るため計画が策定されました。

橋の維持管理方針は5年に一度程度の定期点検の実施、日常の道路施設パトロールにおける点検の実施です。平成21年度より調査を開始し、策定した計画に基づき、平成25年度より傷んだ箇所の補修などを順次実施の予定です。計画的に橋を補修することにより寿命を50年以上延命できると言われていることから、本計画により橋の維持管理費用は22億5,000万円から11億6,000万円程度と大きく節減できます。

主な質疑・応答。

問 この計画はどのように進められるのか。答 この修繕計画ができたことにより、国に対して予算要望する準備ができたこととなります。町のホームページにも概要を掲載することも条件となっています。予算が通れば平成25年度より順次修繕を進めます。

次に、公共交通対策について（政策推進課）。

今年度、町内の公共交通路線（既存の公共交通路線は維持しつつ）についてあるべき姿を模索し、社会実験が行われます。町民の皆様にとってより利用しやすい公共交通となるよう、町内での新しい公共交通サービスについて検討を進めるため、65歳以上の方を対象にアンケートが実施されました。

アンケート結果は、自分で自由に使える車やバイクを持っている人が全体の3分の2を占めている一方で、家族も車やバイクを持っていない人が3.2%にとどまっています。家族が車やバイクを所有しており送迎してもらえる人は30.6%となっています。町内の医療施設以外の役場周辺、金融機関、総合運動公園、観光・娯楽施設では、自分で自由に使える車やバイクがないとほとんど行かない人が多いです。町内のいずれの目的地への交通手段は自動車が最も

多く、町内の医療機関へは人に乗せてもらって自動車で行く割合が多い。外出の目的地と外出時の不便さでは、「町内の医療機関」については、ほかの目的地に比べて「常に不便に感じる」の割合が多くなっている。

新しい公共交通サービスの利用意向は「利用する」が40.7%で最も多く、「利用しないと思う」25.3%を大きく上回っている。利用時の費用負担は1回200円が最も多く、次いで300円でした。利用したくない理由としては、「自分や家族の運転のほうが便利だ」が79.5%となっていた。

自由意見として「現在の公共交通」「新しい公共交通の運行日、ルート、時間帯、便数、目的地、バス停、事前予約」等についての意見が寄せられていました。

今後の取り組みは、7月から8月に竜王町地域公共交通会議で検討し、9月から11月で社会実験を実施される予定です。

主な意見といたしまして、アンケートの時点より10年先の状態を見越して計画を立て、社会実験を行ってほしい。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、教育民生常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○教育民生常任委員会委員長（貴多正幸） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成24年5月31日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る4月25日午後1時より第1委員会室において、委員全員出席のもと、町執行部より、竹山町長、岡谷教育長、山添教育次長、田中住民福祉主監、嶋林健康推進課長、市田学務課長の出席を求め、所管事務調査を行いました。

幼保一体化の取り組みについて。

嶋林健康推進課長及び市田学務課長より、幼保一体化の取り組み及び目的等について説明を受けました。

これまでの取り組みについては、1、幼稚園・保育所を問わず、希望するすべての子どもに対し、生涯にわたる人格形成の基礎である質の高い幼児教育・保育を保障する。2、仕事と子育てを両面で支援するなど社会全体で次代を担う子どもの育ちを支える。3、希望するすべての子ども及び子育て家庭を支援するとい

う三つの視点から進められてきた。

また、これら三つの視点を踏まえ、1、質の高い学校教育・保育の一体的提供。2、保育の量的拡大。3、家庭における養育支援の充実の3点を目的とし、国会において審議中であり、当町においても、2015年度からの開始に向け、ワーキング会議を開く等をし、準備を進めているとの説明を受けた。

主な質疑・応答。

問 竜王町立幼稚園については、現行の幼稚園、総合子ども園、どちらを選択するのか。答 ワーキングチームでこれから検討していきますが、3歳から5歳だけの幼稚園として残ることは、待機児童解消の面から考えても難しいと思います。

問 3歳児以下を受け入れた場合、給食はどのようになるのか。答 ゼロ歳から2歳児の場合については、調理室を子ども園の中でつくる必要があります。町立幼稚園がゼロ歳から2歳児を対象とするのなら、現行の施設に調理室や保育士の基準を満たす部屋等をつくらなければならないことになります。

主な意見として、保育の面については、ひまわり保育園に頼りきりの感があるが、今年度、待機児童が出ている現状を真摯に受けとめ、行政としてしっかりとした方向性を出されたい。

本委員会は、去る5月24日午後1時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと、町執行部より、青木副町長、岡谷教育長、山添教育次長、市田学務課長の出席を求め、所管事務調査を行いました。

竜王中学校の部活動における現状と課題について。

市田学務課長より、中学校の部活数や部活動在籍者数、中体連大会に参加を認めているクラブ等の種目について説明を受けました。中でも生徒の個別ニーズが進む中、複数顧問制を原則としている中学校としては、20名の教員では限界があること、1チームを形成できない場合は廃部としてきたが、生徒や親の思いからなかなか廃部にできない現状等、学校側だけで処理ができるものではなく、地域ぐるみで協力していくことが必要であることを確認しました。

主な質疑・応答。

問 一つのクラブに複数顧問を置いているが、1人では都合が悪いのか。答 大会等に出場する場合、引率する責任がありますので、2人以上の顧問を置いています。

問 クラブ活動における顧問が足りないのであれば、外部からコーチとしてお

お願いしてはどうか。答 指導者の体制作りについては、学校側も地域にお願い等をされていますが、平日の夕方に来てもらえる方がなかなかおられないのが現状です。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は、引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま、各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら、発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続して行うことにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 議員派遣について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第8 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第119条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長に報告していただくようお願いいたします。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成24年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例会は、6月に執行予定の竜王町長選挙の関係で1カ月繰り上げて招集させていただき、5月17日から5月31日までの15日間にわたって会期を持たせていただきました。

議員各位には、提案させていただきました5件の議案と1報告に対しまして、連日慎重なる御審議を賜り、本日すべての議案を可決、お認めをいただきましたことに心より厚く御礼を申し上げます。それぞれの委員会で承りました御意見や本会議一般質問にていただきました御高見に対しましては、真摯に受けとめさせていただき、今後の行政経営に活かしてまいらねばならないと心を新たにいたしているところでございます。

さて、本定例会会期中に、私は、町内大手自動車会社の合併によるところのA社の工事安全祈願祭に参列させていただきました。このことと、過日開催された大手自動車会社フェスティバルにて、同社の上席役員の方々が顔をそろえての出席であったことを目にいたしまして、竜王工場が国内における同社の自動車生産の重要工場とお考えになっているあかしと受けとめさせていただきました。

竜王町の財政にありまして、同社からの法人税収により大きな影響を受ける実態は否めず、このところの業界の活況とあわせ、同社の業績回復も順調と報じられており、部品供給拠点となるA社の立地は町としてありがたい感謝をいたさねばならないことであり、一日も早い操業開始を願っているところであります。

あわせまして、既に一部着手となっているW社物流センター建設工事、大型商業施設の増床工事等、この夏場から三つの企業の建屋工事が同時進行となり、まだまだ国内の経済状況は不透明である中、町の皆さんに目に映る形で企業立地が進むことに、町の将来に対して明るさを感じ取ってくださるものと思っています。

さらにその先においても、県有地の開発等活性化への動きが続きますので、町内における雇用の拡大面とで、この一、二年間はたつ年を文字どおり昇竜にいたさねばならないと、機を逸さないようにする責務を認識しているところであります。

話を転じさせていただきますが、平成20年6月24日に第8代竜王町長に就任させていただき、丸4年が経過いたします。任期満了を迎えることになりました。私は、行政経験も政治活動経験を持たない民間の出身であり、就任当初、行政用語一つわからない状態でありましたが、議員各位の御指導・御叱正を賜り、町の皆様の御協力・御理解、そしてお支えをちょうだいいたしながら、大過なく4年間の任を終えさせていただくことができますことに、改めまして、心より感

謝と御礼を申し上げる次第でございます。

あつという間の4年間ではありましたが、平成20年7月から8月にかけて近江八幡市、旧安土町、そして竜王町の枠組みで、国の方針により合併推進の強い働きかけがありましたが、見送らせていただきますと回答したこと、そして財政健全化へ向かい、住民説明会を平成21、22年度に町内10会場にて開催し、町の皆さんに御協力・御理解を願ったこと、もとより住民対話が行政施策を打ち出す基本との考えであり、町内全集落をくまなく回らせていただいたこと、さらにはアウトレット大型商業施設や庁舎前大型店の立地等、先人の功労の上に企業進出をなし得たこと等、いろいろなことが今頭の中をよぎってまいります。

昨年12月定例会にて、小才を省みず、厚かましくも2期目へ向かわせていただく決意を表明いたしました。財政健全化においては、一刻も早く実質公債費比率を18%以下の数字に持っていくこと。人口が減少し続けている本町の実態を謙虚に見つめ、若者定住から人口増加へ向かう第五次竜王町総合計画を確実になし遂げること。住んでいてよかった、住みたくなるまちづくりへ、行政として何をなさねばならないのか、少子高齢化が加速度的に進行するとき、町として社会保障をあわせた福祉施策をしっかりと打ち立てねばならないこと等々、4年前までは一町民でしたが、4年間行政の場に立たせていただいて、町の課題、町の実態を認識いたしました。

志半ばでありますし、町の課題が見えるようになりましたことから、町をたくましくよみがえらせるには、今ひとたび、町政に身を投じさせていただく決意をこの半年間、お伝えいたしてまいったところでございます。

6月17日執行予定の竜王町長選挙にて皆様の審判を仰ぐわけではありますが、まちづくりの方向をしっかりと訴え、町長戦に臨む考えでございます。

新緑がまばゆいばかりの季節であります。日一日と暑さが増してまいります。議員各位には、くれぐれも健康には御留意いただきまして、議員活動に御専念くださることと、御家族様あわせましての御多幸を衷心より御祈念申し上げまして、閉会のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（蔵口嘉寿男） 閉会に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

今期定例会は、諸般の事情より、例年より1カ月繰り上げ、去る5月17日に招集され、本日までの15日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な案件について慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただき、ありがとうございます。議員各位並びに執行部各位の御協力に対し厚く御礼申し上げます。本会議並びに委員会において各議員が述べられました意見や要望事項につきましては特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第でございます。

このところ、全国で天候異変が起こっておりますが、一方では、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故をきっかけに、原発の安全性への懸念が強まり、定期検査入りした原発の再稼働が決まっていません。今年の夏に続き、ことしの夏の電力不足が及ぼす経済界への影響が懸念され、原発再稼働に対する賛否が分かれているところであります。

関西電力では、大飯原発3号・4号機を再稼働しない場合は、ことしの夏は15%の電力が不足し、突然の停電も心配されます。本町としても、節電に率先して取り組み、町民への協力を呼びかけ、御協力をお願いしたいものでございます。

ことし3月期の京滋の各企業の決算状況の公表を見てみますと、赤字・減益が多く、ことしは景気の回復基調が期待できるとの見通しがある中で、現実はまだ遠く、電力不足による経済界への影響が最小となることを願うものであります。

いよいよ初夏を迎える季節となっております。議員各位並びに執行部におかれましては、やがて梅雨に入る季節でもあり、くれぐれもお体には御自愛いただき、町政の振興発展のために一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。閉会に当たってのごあいさつといたします。

以上をもちまして、平成24年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦勞さまでございました。

閉会 午後2時15分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 松 浦 博

議会議員 西 村 公 作

議会議員 菱 田 三 男